

## 令和3年 美郷町長 新年挨拶

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、町行政へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に振り回される一年となりました。たくさんの行事やイベントが中止となり、町民の皆さんは密を避け、感染予防に気を使う生活を余儀なくされました。ご苦労が多かったこととお察しいたします。

行政としましては、感染予防対策をはじめ、雇用者支援、事業者支援に最優先で対応してきました。また、外出を控える生活が常態化する中、「健康教室」や「おつかいタクシー」「小児科・産婦人科オンライン相談」など町民の日々の健康や生活を支援する施策をきめ細かく展開しました。そして、「新型コロナウイルス感染症差別、偏見等防止条例」を制定し、町民をコロナ差別から守る強い意志を示し、取り組んでいます。

現在、全国で感染が拡大しています。引き続き、感染予防、体調管理を心がけていただきますようお願いいたします。

町としましては、町民のために引き続きあらゆる面から新型コロナ対策に取り組んでいきます。

一方、将来につながる様々な取り組みも、アフターコロナを見据えて準備を進めてきました。今年は、これらが形となって表れる年です。「軌道に乗せる年」と位置づけ、着実に足場を固めていく1年としたいと思います。

まず3月には潮温泉施設「石見ワイナリーホテル美郷」がオープンします。健康増進施設として町民の皆さんに満足して使っていただくと同時に、地域振興や地域活性化に結び付けるよう展開を図って

いきたいと思います。

また令和2年度内には、町民カードの配布により地域にお金が循環する仕組みが導入されます。併せて行政が付与してきた定住ポイントなどの各種ポイントも町民カードに統合され、行政サービスと町内経済が一体となった機動性の高い体制が確立されます。

そして、新しいIP端末が各世帯に設置され、TV電話機能を活用して遠隔診療や買い物支援サービスなど町民の生活の課題解決に向けた新しい取り組みを予定しています。

また、3月頃から、バリ島マス村の技能実習生が順次来町され、町内事業体で実習が始まる予定です。これまでの民間交流に加えて、双方にメリットのある経済交流を進めていきます。

次に、神奈川県相模原市にある麻布大学が美郷町に進出し、4月1日に教育・研究サテライト施設として「麻布大学フィールドワークセンター」を設置されます。専任教授兼センター長が常駐され、研究者や学生が長期滞在して研究や教育活動が行われます。2009年に邑智高校が閉校になったのをきっかけに、町の活気が一層失われたと感じます。しかし、今回の麻布大学の進出をきっかけに「高校はないけど大学のある町」として、地域活性化に結び付けていきたいと思っています。

町民の皆様におかれましては、バリ島からの若者、麻布大学の若者を温かく迎えていただきますようよろしくお願いいたします。

また、日本を代表する企業と連携して、未来技術を使った課題解決の取り組みが本格化します。佐川急便株式会社が来年度ドローン物流の実証実験を予定しており、古河電気工業株式会社グループとは獣害対策や防災・減災、ドローン活用などの分野で最先端技術を活用した取り組みを行っていく予定であり、NTT西日本とはICTを活用した地域活性化協定を結びました。

特に、国が力を入れているデジタル技術を活用した施策は、地方の課題解決、生活の利便性向上、経済発展に大きく資する可能性を秘めています。

町民、町にとって緊急性、重要性の高い分野において、デジタル技術を活用した施策に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

以上申し上げました今年スタートする案件は、いずれも美郷町が抱える重大な課題の解決や地域の活性化に大きく寄与するものです。しっかりと軌道に乗せていきたいと考えています。

そして、アフターコロナの時代には、世の中の価値観や行動様式が大きく変わることが予想されています。

新型コロナによって大都市の「過密」のデメリットが顕在化し、これまでの価値観や行動様式が大きく転換し、大都市の対極にある「過疎」の地方に目が向けられようとしています。見方を変えれば、美郷町にとって大きなチャンスの到来ともいえます。

感染拡大防止など足元の課題に最優先で対応していくのはもちろんですが、身を縮めてコロナという嵐が過ぎ去るのを待っているだけでなく、今こそ、『何もないけど知恵がある町』を具現化していくときです。

氷河期に生き残ったのは最強の恐竜ではなく、環境変化に適応した少数の生き物たちです。世の中が大きく変わろうとする中、しなやかに美郷町の未来を切り開いていきたいと思えます。

私の掲げている2つのビジョン「活気あふれる明るい町」と「町外と活発な交流のある町」の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでいきます。

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに、町民の皆様がこの1年間健やかに過ごされますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

美郷町長 嘉戸 隆